



2023年6月2日

各位

会社名 サイバートラスト株式会社  
代表者名 代表取締役社長 CBXO 眞柄 泰利  
(コード番号：4498 東証グロース)  
問合せ先 取締役 常務執行役員 CFO 清水 哲也  
(TEL 03-6234-3800)

## 2023年3月期 決算に関する質疑応答集 2

当社の2023年3月期決算に関して、これまで株主・投資家などの方々からいただいたお問い合わせ、感想および当社からの回答をまとめましたので以下の通りお知らせいたします。  
なお本開示は市場参加者のご理解を一層深めることを目的に、当社が自主的に実施するものです。皆様のご理解を賜ることを目的として一部内容・表現の加筆修正を行っております。

**Q1 2023年5月8日付「2023年3月期決算に関する質疑応答集」において、「グローバルアライアンスの方向性について6月までに発表する」、「これにより中期計画の確度がより高まる予定」との説明がありましたが、5月22日発表のAlmaLinux OSの共同開発、米国CloudLinux社との協業のことで**

すか？

その通りです。

当社はコミュニティサポートが終了するCentOSの乗り換え需要をLinuxサポートの大きな商機であると考えておりますが、The AlmaLinux OS Foundationへの参画、CloudLinux社との協業により世界的にもCentOSの後継OSとしてシェアの高いAlmaLinux OSサポートを日本国内で当社が2023年6月から受付開始いたします。

この協業をきっかけにCentOS7の2024年6月サポート終了の商機をとらえることで、2023年6月から2025年3月までに年間4～5億円、合計10億円の売上高を見込んでおり、中期計画として掲げている2025年3月期の売上高100億円、営業利益20億円の目標達成の確度がより高まったと考えております。なお、CentOS7の2024年6月サポート終了後の2026年3月期以降も協業による成長に向け取り組んでまいります。

**Q2 そもそもAlmaLinux OSとはどのようなものか？なぜ、国内でのサポート需要を見込むのか？**

AlmaLinux OSは非営利財団「The AlmaLinux OS Foundation」の技術者コミュニティによって開発されているRedHat Enterprise Linux互換のオープンソースのLinux OSです。

国内でのサポート需要を見込む背景に、CentOS7が2024年6月にサポート終了するため、CentOSのユーザーには代替となる後継OSが必要になります。しかし、CentOSのシェアが圧倒的すぎたため、CentOS以外のOSは知名度やサポート状況などの点で今すぐ後継OSとして使用するには決め手に欠けておりました。世界的にはAlmaLinux OSとRocky Linux OSの2つがCentOSの後継OSとして有力視されておりますが、日本国内でのサポートがないなど、CentOSユーザーは移行の手間を無視できませんでした。

そのため日本国内におけるAlmaLinux OSのサポートの大きな需要を見込んでおります。

**Q3 CentOSの後継OSとして乗り換えを提案していたMIRACLE LINUXのビジネスはどうなるのか？**

MIRACLE LINUXは今後、AlmaLinuxと共同して開発していき、AlmaLinuxがMIRACLE LINUXと一体と

なります。MIRACLE LINUX のこれまでのバージョンもお客様の選択に応じて今後も提供してまいります。なお、MIRACLE LINUX のエンジニアの一部は AlmaLinux コミュニティ活動に参画し AlmaLinux OS の品質向上に貢献いたします。また、AlmaLinux コミュニティ活動の成果を MIRACLE LINUX のこれまでのバージョンに反映してまいります。

**Q4 なぜ、CloudLinux 社は AlmaLinux のサポートサービスについて、サイバートラストが国内販売を取り扱うことを認めたのか？**

当社は MIRACLE LINUX というエンタープライズ向け Linux OS の国内唯一のディストリビューションとして 20 年にわたる開発・サポート実績があること、OSS セキュリティに関するコミュニティ活動に注力していること、また 100 名を超える Linux エンジニアを有していることをご評価いただいたものと考えております。

**Q5 CloudLinux 社が販売している AlmaLinux のサポートサービスをサイバートラストが日本で販売するということか？**

その通りです。ただし、単なる再販ではなく、これまで 20 年にわたる当社のサポート実績において蓄積した経験を AlmaLinux の技術サポートに付加して提供していく予定です。

**Q6 現時点でサイバートラストとしては、MIRACLE LINUX と AlmaLinux のどちらをお客様に提案するのか？**

産業領域のお客様には 20 年にわたる実績のある MIRACLE LINUX を継続提案しますが、エンタープライズ領域は AlmaLinux ユーザーが多いため AlmaLinux の提案が増えていくと考えております。ただし、どちらということではなく、お客様のニーズに合わせてご提供させていただきます。

**Q7 サポート案件が急増した場合に、エンジニア数がボトルネックにならないか？**

サポートサービスは更新プログラム、過去の対応実績において蓄積した経験を有効活用できるため、ソフトウェアの受託開発案件のように案件数の増大に応じてエンジニアリソースが必要となるものではないと考えております。

**Q8 AlmaLinux サポートを取り扱うことで波及効果や他の展開予定はありますか？**

AlmaLinux サポートの提供とあわせて、サーバーの死活監視や脆弱性管理サービス等他の OSS 製品の販売においても相乗効果があるものと考えております。また将来的には、日本国内に限らずアジア諸国にも当社が AlmaLinux サポートを販売することも考えております。

\* 登録商標 Linux® は、Linus Torvalds から排他的ライセンスを受けている The Linux Foundation からサブライセンスを受けて使用しています。

\* その他本文書に記載されている会社名、製品名、サービス名は、当社または各社、各団体の商標もしくは登録商標です。

以上